

## これまでの経緯

- H26.7.8 国土交通省より技術検討小委員会の中継まとめとして、新飛行経路案を公表
- H27.8.9～延べ5日間 第1フェーズ説明会開催
- H28.1.11～延べ5日間 第2フェーズ説明会開催
- H28.7.28 第4回首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会にて、国から環境影響等に配慮した方策が出された
- H28.7.29 同方策の公表（国交省HPにて）
- H29.2.11 住民説明会（動画・音声・パネル展示の体験型のオープンハウス説明会）

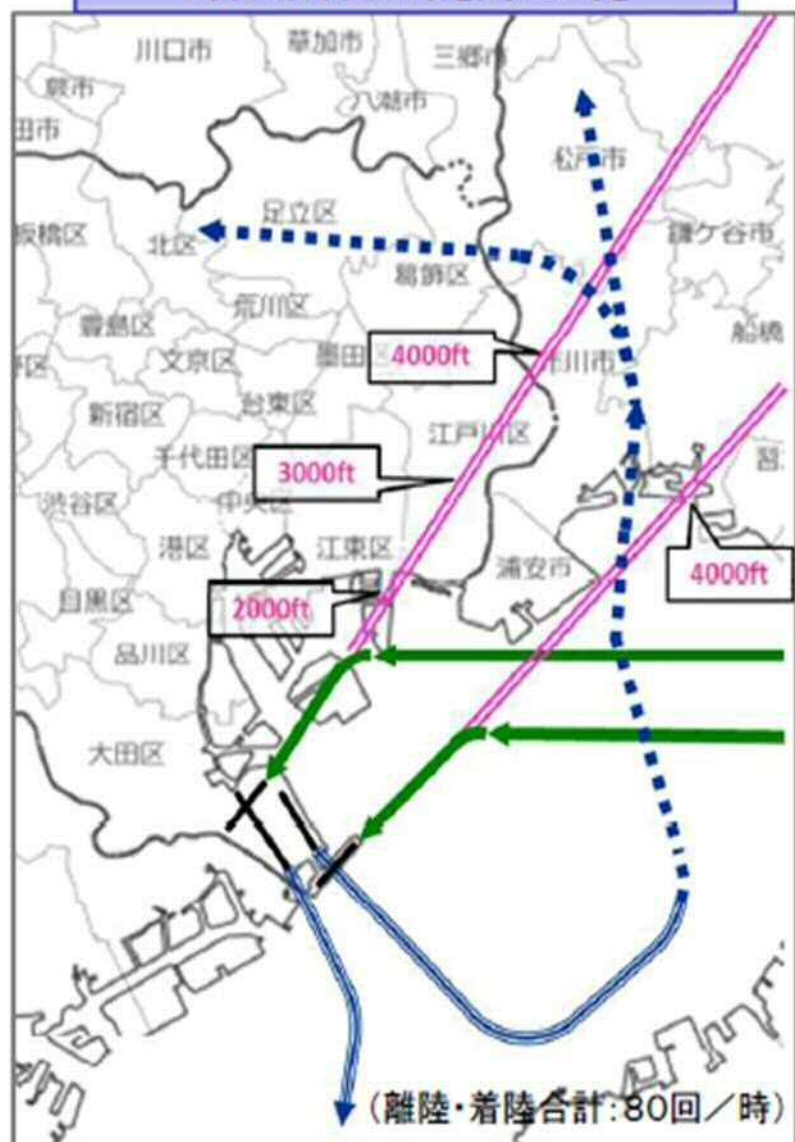
## 今後の予定

- H29.6下旬 羽田空港のこれから「ニュースレター」第7号発行予定（国土交通省）
- 説明会の継続的な開催（国土交通省）
- 地元地域では説明が不十分という声もあり、国に対して引き続き丁寧な説明を求めていく

## 滑走路運用・新飛行経路

図1

### 現行飛行経路【南風時】



← 現到着経路(好天時) ← 現到着経路(悪天時) ← 現出発経路  
※経路の点線は約6,000ft以上を想定

図2

### 新飛行経路案【南風時】



- 南風運用の割合  
運用全体の約4割(年間平均)
- 南風時新経路の運用時間帯  
15:00～19:00(切替時間を含む)

← 新到着経路(好天時) ← 到着経路(悪天時) ← 新出発経路  
※経路の点線は約6,000ft以上を想定

図3

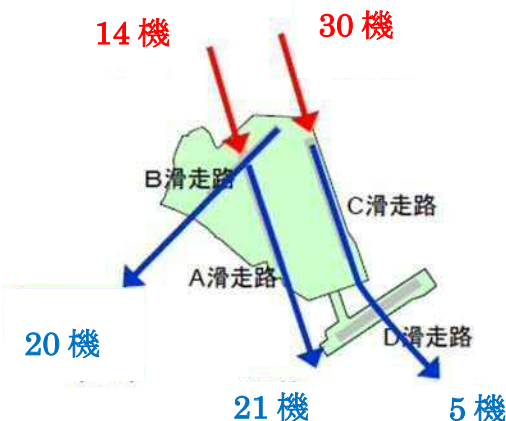
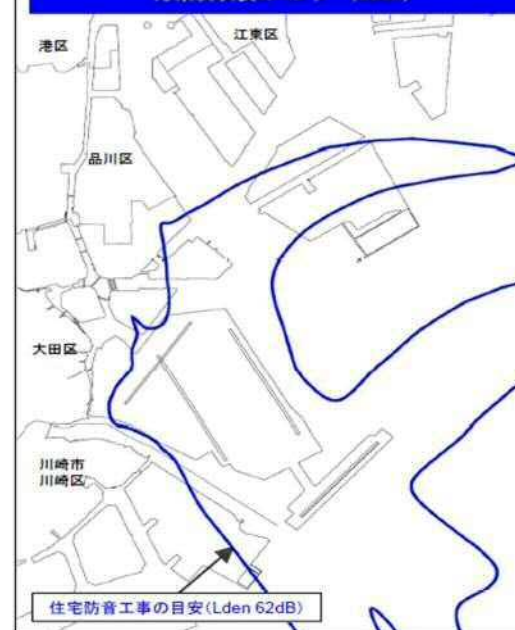


図4

### 方策反映後のコンター(Lden)



## 環境影響等に配慮した方策

### 運用の工夫

- 飛行経路
  - ◆南風時の新到着経路に係る進入開始高度の引き上げ
  - ◆南風時の新たな滑走路運用に係る使用便数の調整によるB滑走路からの出発機の便数の削減(24機⇒20機)
  - ◆北風時の新出発経路に係る朝の運用時間の後ろ倒し(6:00～10:30⇒7:00～11:30)
- 現行飛行経路
  - ◆北風時の現行到着経路に係る富津沖海上ルートの変更の活用

### 環境対策

- ◆騒音に配慮した料金体系の導入による低騒音機の導入促進
- ◆学校・病院等の防音工事(防音工事実施基準の見直し)

### 安全対策

- ◆外国航空機を含めた安全対策の徹底
- ◆落下物対策の徹底・強化

### その他

- ◆住民への引き続きの丁寧な情報提供